

「のとてまり」・「のと115」だより

<発行者> 奥能登原木しいたけ活性化協議会、石川県農林総合研究センター

ハウス搬入後のホダ木管理について

のとてまり初競り用の出荷の後、次の出荷に向けたホダ木の管理が重要です。収入を得るためにしっかり管理しましょう。

◇ シイタケに袋かけを行っていますか？

- ・ 保湿、保温のため袋かけを行いましょ。
- ・ ホダ木と擦れて黒ずみが発生しないよう袋掛けや袋はさみをしましょ。
- ・ ホダ木の裏側にも芽切りしていないか注意しましょ。

ホダ木と傘の間に袋をはさむ



袋かけの例

◇ ホダ木が乾燥していませんか？

- ・ 傘がひび割れている、シイタケの色が薄い、ホダ木が軽い又は触っても水気を感じない場合は、ホダ木の水分が不足しています。
- ・ 収穫後、日中気温の高いうちにホダ木全体がしっとり濡れる程度散水しましょ。
- ・ ハウス内のホダ木は合掌に組んであるため、乾燥しやすく、また、水分を吸収しづらいので、一度にたくさん水をかけるよりも少しでもこまめにかけることが有効です。
- ・ 朝もやが発生するような場所では、ハウスを開け放って朝もやを取り込むことも有効です。



・ 水分が不足すると傘がひび割れてきます

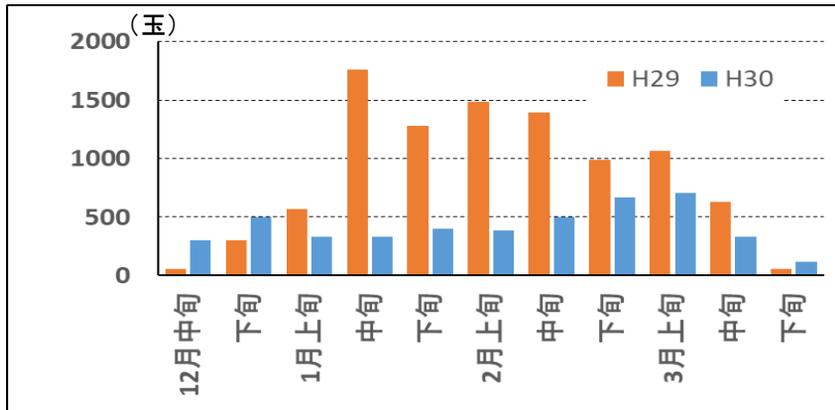
・ ホダ木が乾燥していると袋をかけても結露しません

◇ ハウス内の室内温度は大丈夫ですか？

- ・ 日中8℃から12℃くらいまで室内温度が上がればシイタケがじっくり大きく育ちます。
- ・ 1月から2月は最も寒い時期ですので、日中は成長に必要な温度(～12℃)を確保し、夜間は熱を逃さないよう閉め切ってください。
- ・ ハウスを閉め切ったままにするとシイタケが酸素不足になってしまいますので、朝、ハウスを開けて換気を行いましょ。(ただし、吹雪のときは締め切ります)。
- ・ 収穫が終わったあとのホダ木は、水分と温度(～20℃)を与えて休養させ、次の芽切りを促しましょ。

H29、30年の出荷量の実績について

◇ のとてまり(のとてまりプレミアムを含む)



- H30年の出荷量について、12月は、H29年より、2倍程度多かった。
1月中旬から2月中旬は、H29年と比べ1/6～1/3程度の出荷量であった。
2月下旬から3月上旬にかけて出荷量は増加したが、H29年を下回った。
- H29年は、1月中旬をピークに、3月上旬にかけて週1000玉の出荷が続いた。

◇ 共選のと115



- H30年の出荷量は、12月中旬からシーズン終了まで、1週間に1000個以上を下回ることにはなかった。
2月以降、3月上旬をピークに出荷量が増加した。

共選開始日について

今年度の原木生しいたけ共選事業の初出荷日は、下記のとおり予定しています。

- ・「のと115」 12月11日(水)
- ・「のとてまり」 12月19日(木)

年内は、12月11日(水)、13日(金)、16日(月)、19日(木)、23日(月)、25日(水)、27日(金)の計7回、年明けは1月4日(日)からの予定です。

・全農いしかわ穴水事務所(脊戸)

Tel 0768-52-1240

・日本きのこセンター北陸駐在(平野、梶川)

Tel 076-223-2956

・石川県奥能登農林総合事務所 森林部(森川、山口)

Tel 0768-26-2329

・石川県農林総合研究センター(能登駐在)(八島)

Tel 0768-67-2104